

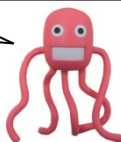
管理者 古村久美子

6月・・・先日はひどい雨でした。農作業の方はどうなのでしょう。田んぼに水が張られているのを目にするようになりました。すぐに緑の苗で埋め尽くされることでしょうか。いつも通る道があるのですが、1年に一時期この光景を目にしながらか訪問に向かうのは癒されます。

ところで、私には心ときめくあこがれの男性が二人います。私の目指す高齢期の暮らし方を実践されていますが、ときめくのはやさしく男らしいからでしょうか。以前にも紹介したことがあるかと思いますが、お一人は北海道・札幌の岩見太市氏（シーズネット札幌理事長）です。シニア人生を豊かに自立して過ごすために仲間づくり、役割づくりの活動を展開されています。もうお一人は次回紹介します。

私もケアマネージャーをしていてつくづく思うのは、高齢者自身の、それこそ介護保険で言う能力に応じた自立です。そのためには元気なうちから備えておく（新しい縁を持ち、自分のできる役割を持つ）ことだと考えています。どんな方にも居場所がある、そんな暮らしができる住まいをつくろうという会・明るいシニアライフをつくる会「結」を主宰しています。詳しいことをお聞きになりたい方はご連絡ください。また、岩見さんのことをシーズネットのホームページ（ブログ・豊寿語録）でぜひご覧ください。

O-157 です
熱に弱いよ



食中毒が心配な季節です

お肉の生食・加熱不足による食中毒に注意しましょう！

梅雨の時期から夏にかけては、食中毒に特に注意が必要な季節です。細菌は高温多湿を好み、増殖が活発になるからです。

最近、焼肉店で生肉を食べた客の集団食中毒事件がありました。O-157 や O-111 は、家畜の腸に普通にいる細菌なので、肉に付着する菌をゼロにすることは非常に困難です。ただ、これらの細菌は熱に弱いため、十分加熱して食べれば、食中毒にはなりません。特に抵抗力の弱い子どもや高齢者は、重い症状になりやすく、合併症を起こして死亡する例もありますので、十分に加熱して食べるようにしましょう。

もう1つ、重要なのは、腸管出血性大腸菌は、患者の便に含まれる大腸菌が、直接または間接的に口から入ることによって、2次・3次感染を起こすことがあるということです。少量で感染し、胃酸のなかでも生き残って腸に達し、感染を起こします。腹痛や下痢などの症状があるときは、早めに医療機関を受診し、医師の指示を仰ぎましょう。

感染の疑いのあるときは、症状は軽くても消毒・手洗い等を徹底し、集団での入浴・調理に携わること・乳幼児や高齢者のお世話などは避けてください。



食中毒予防の3原則

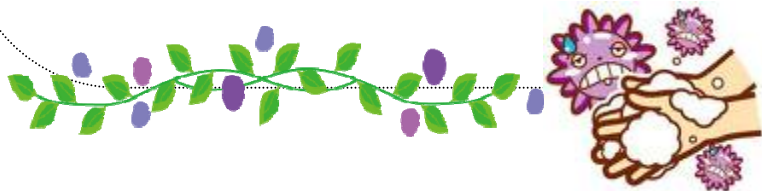
「つけない」「増やさない」「やっつける」

なるべく新鮮なものを、**清潔**に調理して早めに食べることが大切です。

台所で生肉が生野菜などに触れることのないよう、菜箸や包丁・まな板を分けるようにしましょう。

お肉は、必ず中心部分が**75℃以上、1分以上**になるよう加熱します。

ヒトからヒトへの感染を予防する基本も、**手洗い**です。排便後、食事の前は必ず手を洗いましょう。



「特定事業所加算制度」

居宅介護支援事業所

「特定事業所加算制度」は、専門性の高い人材を確保し、質の高いケアマネジメントを実施している優れた事業所を高く評価することで、ケアマネジメントの質を向上させることを目的としています。対象となる事業所は、



- ☆ 公正中立性を確保し、サービス提供主体からも独立した事業所
- ☆ 経験及び能力を有する主任介護支援専門員による管理監督体制
- ☆ 常勤かつ専従の介護支援専門員の配置
- ☆ どのような支援困難ケースでも適切に処理できる体制

以上のような体制の整備がされている、モデル的な居宅介護支援事業所です。「スマイルゆい」は、厳しい要件を満たし、大分県から**特定事業所加算Ⅱ**の認定を得ています。

つまり、特定事業所加算制度に認定された事業所とは、経験豊かな専任スタッフが、公正中立を確保し、より質の高いケアマネジメントを行うため、日々業務に励んでいる優良な事業所なのです。

なお、居宅介護支援事業所の特定事業所加算制度の場合、利用者の負担が増えることはありません。



まとめ：「特定事業所加算制度」は、優良なサービスを選ぶ参考になる。高度な基準をクリアした事業所だとわかる。

この春、AC 公共広告機構の CM で耳にする機会が増えた金子みすずの詩の世界、「こだまでしょうか？ いいえ誰でも」、気になっている方も多いのではないのでしょうか。



金子みすずは、明治～昭和初期に生きた女性童謡詩人で、これらの詩は大正時代、70年ほど前に書かれたものです。ですが、人柄が伝わってくるような優しい日本語は、まったく古さを感じさせず、昨日お母さんが子供に語り聞かせた言葉のようです。

競争原理だ、評価主義だ、と息苦しいことも多い時代ですが、「みんなちがって、みんないい。」自分に言い聞かせたい言葉、福祉の原点です。

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面(じべた)を速くは走れない。

私がかからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんの唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。



新人職員紹介

スマイルゆいの新人職員を紹介します。

介護支援専門員 **西 くみ(にし くみ)** です。

~~~~~

この度、スマイルゆいで新たに勤務することになりました、介護支援専門員の西くみです。以前は医療施設の併設の居宅介護支援事業所で7年間、介護支援専門員の仕事をしていました。スマイルゆいでは、独立型ならではのいろいろな背景をもった方々との関わりを日々、学んでいるところです。

趣味は、魚釣り(最近、忙しくてなかなか行けていませんが)と、庭で野菜や花を育てることです。土に触って、植物の成長を見守ることが、いい気分転換になっています。どうぞよろしくお願いします。

~~~~~

スマイルゆいも、新たな体制で益々業務に邁進してまいりますので、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。